

24-5100

95
23

数理解析研究所講究録 433

短期共同研究

数学分野の情報検索：現状と方策

禁帯出期間

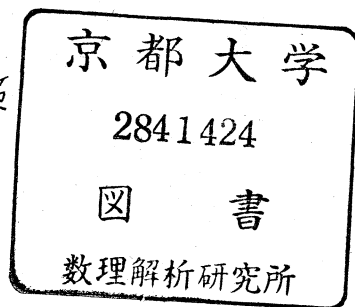
56.7.29 - 8.-5

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1981年6月

短期共同研究
数学分野の情報検索：現状と方策
報告集
1981年5月11日 - 5月13日
研究代表者 一松 信



目 次

1. はしがきxl
京大 数理研 一松 信
2. 数学分野の学術情報組織化をめぐり
近年の研究状況 — 要約1
東京理大理 山本純恭
3. 分散型学術情報システムの構図と
数学研究におけるその意義5
富士通 国際情報社会科学研 北川敏男
4. 数学分野の情報検索について20
京大 数理研 一松 信
5. 電気通信大学情報数理工学科における
図書情報検索の昨日・今日・明日32
電通大 牛島照夫
花田孝郎
萩無里立人

6. 京都大学数理解析研究所図書室とデータベース
RIMS PICMS について41
京大 数理解析 中司里美
一松 信
7. 会議録、議事録のデータベース作成64
東大 理 羽鳥浅子
池沢 順
吉永恵子
8. 「出版社名」という情報について105
東京理大 理工 細井 勉
9. レビュー文献と SCI について107
東京理大 理 林 健児
和田雅美
10. MIRRF システムによる文献データの作成と利用について ..120
九大 理 有川節夫
11. 数学図書のデータベース (MATLIB).....130
広大 総合情報処理センター 小林康幸
広大 理 田中恭子
12. 数学雑誌の所蔵情報検索について140
筑波大 社会工学系 池田秀人
(併) 広大 総合情報処理センター

13. Mathematical Reviews 収録誌に対する
国内所蔵雑誌のカバー状況について150
名大 理 軽込雅子

は し が き

京大・教理研 一松 信

本冊は、1981年5月11日(月) - 13日(水) に京都大学教理解析研究所で行われた短期共同研究・数学分野の情報検索 — その現状と方策、の報告である。副題は、むしろ「その過去・現在・未来」というべきであった。

これは「数学の研究」ではないが、数学の研究を支える研究体制の一つとして、また計算機の応用として、教理科学の一つの重要な課題である。この研究会の発端は、研究費の「端境期」にあたってどうするか、といった、多少政治的な発想からであったが、内容は情報検索分野の報告として、学術的ないし啓蒙的な価値の高いものとなったので、講究録の一冊としてまとめることとした。ただし講演の全部が完全に収録されているわけではない。自由討論などはすべて割愛した。それでも、そこで語られた諸意見が、内容に反映している場合が多いと思われる。

巻頭の3篇が、いわば概説である。以下はいくつかの大学での現状や、データベース作成に関する報告書である。その中には、機械的な検索にあたって、どういう問題点があるか、

x2

数多くの実例が現れている。

じつさいに、こういった種類の注意は、論文の著者や編集者の日常の僅かな努力によって、改善される面が多い。日本人の著者名については、漢字名とローマ字書きとを一对のものとする、といった習慣が確立するだけでも、随分利点が多い。イニシアルだけでは混同される恐れがある場合には、意図的に Middle Name をつけることも必要であろう。些細なことだが、こうした作業にあたって感じた副産物である。

本冊が、数学分野の情報検索に関心をよびきっかけになることを期待する。終りにいさゝか豊饒なこうした研究会を承認して下さった数理解析研究所と、熱心に講読・討論された参加者各位に感謝の詞を述べたい。

Sin Hitotumatu

Research Institute for Mathematical Sciences
Kyoto University, Kyoto, Japan